

社会科（歴史的分野）学習指導案

日 時 平成24年10月19日（金）第2校時
場 所 南阿蘇村立長陽中学校
年 組 南阿蘇村立長陽中学校 1年A組
男子23名・女子14名 計37名
指導者 南阿蘇村立長陽中学校 教諭 佐藤倫子

1 単元名 「武家政治の始まり」（教育出版P52～57・62～63）

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領「内容」（3）中世の日本の「ア」にあたるが、その中でも「鎌倉幕府の成立」に重点を置き、武士の登場から武士の台頭、武家政権の成立、鎌倉時代における武家社会の展開を扱う。

武士のおこりの段階では、天皇や院・貴族に仕え武芸をもって朝廷に奉仕したりすることから発生した中央（都）における武士と、農業経営や土地の利権をめぐる自衛のために武装化し、次第に武士となった地方の武士が存在する。この性質の異なる両者が、成長の過程で結び付きを深め、やがて権力をもち幕府を成立させるまでになっていく。鎌倉幕府は、荘園・公領というこれまで(天皇・貴族)の土地制度を受けついでいるが、一方で、御恩と奉公に象徴される領地を媒介とした主従関係で成立している封建制度をもとにした政権でもある。また、地方の武士たちも、農業経営にあたり領主化する過程で小武士団を形成してきている。

このように武士にとっての土地の重要性や土地(領地)のために命をかける姿を学ぶことで、これまで学習してきた天皇・貴族中心の政権(律令制度)との違いをとらえることは、歴史の流れを大きくとらえさせる上でも、また、その後も続いていく武家政権、「室町」「安土・桃山」「江戸」時代へと見通しをもたせる上でも適した単元である。

(2) 系統観

本単元における系統は以下の通りである。

小学校社会科(教育出版教科書より)	中学校社会科
第6学年	第2学年
2 武士の世の中	第2章 原始・古代の日本と世界
1 武士の政治が始まる	4 貴族世界の発展
2 室町文化と	第3章 中世の日本と世界
力をつける人々	2 ゆれ動く武家政治と世界
	第4章 近世の日本と世界
	2 天下統一への歩み
	3 幕藩体制の確立と鎖国
	4 経済の成長と幕政の改革

(3) 生徒観

本学級の生徒は、明るく元気の良いクラスである。中学校に入学して数ヶ月が過ぎ、やっと中学生らしい言動が出てきた頃である。全体的には、好奇心が強く新しい知識を獲得することに対する意欲が高い生徒が多く、与えられた課題には熱心に取り組み、最後までやり遂げようと努力できている。班学習などでも教え合い、協力し合いながら課題解決に取り組めており、意欲的な生徒の発言や気付きを中心に学習がどんどん膨らんでいく活気のある授業の雰囲気である。しかし、一方で集中力が続かず、すぐ別のことに関心が移ったり、指示した場所と異なる資料に気をとられたりして、指示を聞いてすぐ作業に移ることが難しい生徒も数名いる。

社会科に関する生徒の実態は以下の通りである。

	とても思う	大体思う	あまり思わない	全く思わない
社会科は好きですか。	17名	12名	6名	1名
毎授業の学習内容が理解できていますか	12名	18名	5名	1名
自分の意見を考える時間が十分に確保できていますか	8名	16名	7名	5名
自分の意見を伝える場面が十分に確保できていますか	9名	15名	6名	6名
自分の意見をみんなに伝えることが好きですか	8名	10名	12名	6名

社会科の授業に対して、「嫌い」・「どちらかと言えば嫌い」と答えた生徒の理由としては「覚えるのが多い」「覚えるのが苦手」等の意見が多かった。社会科＝暗記科目で終わらせないように、授業で取り扱う事象の一つ一つについて探究心や知的好奇心がわき起こるような課題の提示や授業の展開を工夫していきたい。授業内容の理解に不安を感じている生徒も約2割ほどいる。定期テストや単元テストでの個人差も大きい。また、自分の考えを伝える場面についても、苦手意識を持っている生徒が半数いる。小グループ内での発表の場を増やししながら改善していきたい。

本単元の内容に関する実態は以下の通りである。

Q 1 次の人物を知っていますか？また、その人物はどんなことをしましたか。			
	知っている	知らない	『どんなこと』と正しく答えた人数
①平清盛	37名	0名	2名
②源頼朝	37名	0名	17名
③白河院	2名	35名	0名
④北条政子	34名	3名	8名
⑤後鳥羽上皇	1名	36名	0名
Q 2 鎌倉時代の武士は、日頃どんな生活をしていたと思いますか。			
・修行・訓練	17名	・見張りや警備	3名
・米をつくる	2名	・農民のとりしまり	1名
Q 3 貴族と武士の違いは何だと思いますか。			
・貴族は戦わない（戦わせる）、武士は戦う	8名		
・貴族は守ってもらう、武士は守ってあげる（自分で守る）	2名		
・武士は貴族のいいなり	2名		
・身分が違う	2名		
・貴族は遊び、武士は働く	2名		

Q 4 貴族の世の中と武士の世の中の違いは何だと思えますか？			
・ 貴族の世の中は華やか（平和・のんびり）、武士の世の中は戦い			18名
・ 貴族の世の中は身分の差や貧富の差が激しい。			4名
・ 貴族の世の中は天皇中心、武士の世の中は将軍中心			2名
Q 5 鎌倉時代の武士は日頃どのような願いを持っていたと思えますか。			
・ 多くのほうびがほしい	4名	・ 天下統一	2名
・ 御恩と奉公	3名	・ 武士中心の国づくり	2名
・ 勝つこと	2名	・ 平和な世の中	2名
・ 土地が多くほしい	1名	・ わからない	15名
・ 死にたくない	1名		

Q 1では、①・②・④は小学校で既習の人物だが、何をしたのかを正しく答えられた生徒が少なかった。Q 2～4では、『武士＝戦い』というイメージを持っている生徒が多いことがわかった。本単元の学習を通して、Q 5の武士の願いや何のために戦ったのかを考えさせることで、本単元の学習課題に迫っていきたい。

(4) 指導観

上記の実態を踏まえ、以下の点を中心に指導していきたい。

- ・ 貴族の世から武士の世へという大きな時代の流れをとらえさせるにあたって、単元を通しての中心課題を設定し、毎時間の授業の中でその中心課題を解決するための小課題を設定するようなステップを踏んで課題解決を行うことで、理解の到達目標段階の「④意義がわかる」段階まで高めたい。
- ・ 身近なテーマや課題を設定し具体物を提示することで、生徒の意欲を喚起したい。本単元では、地域の題材を扱うことで、歴史を身近なものとして感じさせ、興味・関心を高めさせるとともに、小課題や中心課題の解決に役立てたい。
- ・ 個別指導を有する生徒には、支援員との事前の打ち合わせを行うことで個に応じた指導を心がけたい。また、活動の際には、手順を板書して示す、ヒントカードを用意するなど、視覚的にとらえることができるようにし、生徒がスムーズに活動できる環境をつくりたい。
- ・ 班学習やペア学習を行う中で、小集団で自分の考えを出す機会を設け経験を積ませることで、学級の中で発表するための練習とし自信を持たせたい。

3 単元の目標

関心・意欲・態度	11～13世紀ごろの日本全体や地域の出来事に関心を高め、当時の社会について意欲的に追求することができる。
思考力・判断力・表現力	鎌倉幕府の成立と武家政治の広まりについて考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。
技能	鎌倉幕府の成立と武家政治の広まりに関する様々な資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりすることができる。
知識・理解	11～13世紀ごろの日本の出来事や当時の社会と文化について理解し、その知識を身につけることができる。

4 単元の指導計画（7時間取り扱い）

課程	次	時	主な学習活動と身に付けさせたい能力や資質	評価
つかむ	1	1	「貴族から武士へ」 (単元の学習課題設定) どのようにして武士が力を付けたのかを考える中で、院政や保元・平治の乱が武士の成長に果たした役割を理解することができる。	保元の乱と平治の乱の違いから、武士の性質や立場が変化してきたことを理解することができる。 (ワークシート・テスト)【知識・理解】
		1	なぜ、平氏から源氏へ権力が移ったのかを考える中で、当時の人々の思いや鎌倉政権の特徴を理解することができる。	貴族の政治から武士の政治への転換から、平氏と源氏の違いなどに気付き、鎌倉幕府の支配体制を理解することができる。 (ワークシート・テスト)【知識・理解】
確かめる	3	2	「いざ鎌倉」 武士たちはどのような生活をしていたのかを資料から想像し、御恩と奉公による主従関係が、武士の暮らしと深く関わっていることに気付くことができる。	資料を活用し、武士の暮らしの特色などから、御恩と奉公について図化することができる。(ワークシート)【技能】
		1	「御家人は団結せよ」 なぜ御家人たちは政子の言葉に感動したのかを考える中で、御家人たちの思いや願いを考えることができる。	頼朝が武士の地位を向上しただけでなく、御家人の生活の安定を保障したことなどに気付き、御家人の思いや願いを自分の言葉で表現することができる。(ワークシート)【思考力・判断力・表現力】
ふく	4	1	「郷土の歴史を探ろう」 なぜ、南郷大宮司家はこれほどまでに広い領土を支配できたのかを考える中で、地域の歴史に興味を持つとともに、地方でも中央と同じように封建的な支配が行われていたことに気付くことができる。	身近な地域の歴史に関心を持ち、意欲的に考察することができる。 (ワークシート)【関心・意欲・態度】
まさせる	5	2 / 2 本 時	「単元のまとめをしよう」 これまでに学習した人物にインタビューする中で、天皇・貴族中心の政権から武士の政権に変わるおおまかな時代の流れをとらえ、武士の世の中が成立したことの理由を説明することができる。	武士の世の中が成立した理由についてこれまでの学習をもとに説明することができる。 (ワークシート)【思考力・判断力・表現力】